

## カリキュラムマップ

工学研究科電子情報工学専攻 博士課程前期 R6年度入学生適用 (学位：修士(工学))

### ディプロマ・ポリシー (DP)

人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。

【知識・理解】 DP1：専修する専門分野に関する知識と技術を身につけ、それらが社会で果たす役割を理解できる。

【技能】 DP2：研究課題解決のために必要な手段を計画し着実に実施する能力を身につける。

DP3：研究結果を論理的に考察・精査できる能力を身につける。

DP4：研究成果を公表するために必要なプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につける。

【態度・志向性】 DP5：技術が社会に及ぼす影響を常に考慮し、社会に対する責任と倫理観を持って問題解決に取り組むことができる。

DP6：専門の枠にとらわれない幅広い分野への学習・研究に取り組む意欲を持っている。

### \*3つのポリシー DPと

特に強く関連：◎ 強く関連：○

	部門	授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能		態度・志向性	
						DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
主要科目	集積回路 専修	集積回路特別研究Ⅰ	4	1年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		集積回路特別研究Ⅱ	6	2年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		半導体工学特論	2	1年次	前期			◎			
		集積回路工学特論	2	1年次	後期			◎			
		電子回路設計特論	2	1年次	前期			◎			
		固体電子回路特論	2	1年次	後期			◎			
		応用物理学特論	2	1年次	前期			◎			
	通信システム 専修	通信システム特別研究Ⅰ	4	1年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		通信システム特別研究Ⅱ	6	2年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		移動通信システム特論	2	1年次	前期			◎			
		通信工学特論	2	1年次	後期			◎			
	オプトエレクトロニクス 専修	オプトエレクトロニクス特別研究Ⅰ	4	1年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		オプトエレクトロニクス特別研究Ⅱ	6	2年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		光エレクトロニクス特論Ⅰ	2	1年次	前期			◎			
		光エレクトロニクス特論Ⅱ	2	1年次	後期			◎			
	計算機システム 専修	計算機システム特別研究Ⅰ	4	1年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		計算機システム特別研究Ⅱ	6	2年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		計算機工学特論Ⅰ	2	1年次	後期			◎			
		計算機工学特論Ⅱ	2	1年次	前期			◎			
	情報アーキテクチャ 専修	情報アーキテクチャ特別研究Ⅰ	4	1年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		情報アーキテクチャ特別研究Ⅱ	6	2年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		ネットワークシステム特論	2	1年次	前期			◎			
		ロボティクス特論Ⅰ	2	1年次	前期			◎			
		ロボティクス特論Ⅱ	2	1年次	後期			◎			
	知能工学 専修	知能工学特別研究Ⅰ	4	1年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		知能工学特別研究Ⅱ	6	2年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		言語工学特論	2	1年次	後期			◎			
		情報論理学特論	2	1年次	前期			◎			
	情報システム開発工学 専修	情報システム開発工学特別研究Ⅰ	4	1年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		情報システム開発工学特別研究Ⅱ	6	2年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎
		システム・ソフトウェア工学特論	2	1年次	前期			◎			
		情報ネットワーク特論	2	1年次	前期			◎			
情報セキュリティ特論		2	1年次	後期			◎				
メディア工学 専修	メディア工学特別研究Ⅰ	4	1年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎	
	メディア工学特別研究Ⅱ	6	2年次	通年	◎	◎	○	◎	◎	◎	
	音声情報処理特論	2	1年次	前期			◎				

		画像情報処理特論	2	1年次	前期			◎			
共通科目		応用数学特論Ⅰ	2	1年次	前期			○			
		応用数学特論Ⅱ	2	1年次	後期			○			
		電子情報工学特別講義Ⅰ	2	1年次	(半期)			○			
		電子情報工学特別講義Ⅱ	2	1年次	(半期)			○			
		技術マネジメント特論	2	1年次	前期集中			○			
		システム開発特別演習	2	1年次	前期			○			
		Ⅱプロジェクト管理特論	2	1年次	(半期)			○			
		システム開発特別実習	2	1年次	後期集中			○			
		プロジェクト型開発特別演習・実習	4	1年次	後期			○			

※修士課程又は博士課程前期の修了の要件は、大学院に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。(ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。)

DPに示す資質・能力を有していると認められるものに学位が授与される。

・必要修得単位：30単位以上

必修科目：10単位（専修科目の特別研究Ⅰ、Ⅱ 10単位）

選択科目：20単位以上（当該又は他の専修部門の授業科目のうちから20単位以上）

※学生は、一つの専修部門を選択し、そのうちの一つの特別研究（Ⅰ、Ⅱ）を選ぶものとする。

※前項の特別研究の担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、研究一般等について指導を受けるものとする。

※指導教員が必要と認めた場合は、他の専攻若しくは研究科の授業科目、又は他大学大学院の授業科目を履修し、これを前号の単位にあてることができる。

・修士の学位論文は専修科目について提出する

特別研究（指導教員による対面指導）・・・専門分野の先端的な工学知識を修得する（DP1）。

特別研究（少人数ゼミまたは実験・実習形式授業）・・・研究課題解決のために必要な手段を計画し着実に実施する能力（DP2）と研究成果を公表するために必要なプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力（DP4）を身につける。さらに、技術が社会に及ぼす影響を常に考慮し、社会に対する責任と倫理観を持って問題解決に取り組む姿勢（DP5）と専門の枠にとらわれない幅広い分野への学習・研究に取り組む意欲（DP6）を身につける。

授業科目（特論）・・・研究結果を論理的に考察・精査できる能力を身につける（DP3）。

1年次・・・専門分野の関連研究に関連する現状の把握と研究遂行に必要な基礎力養成

- ・修士論文の研究課題を指導教員の助言を得て学生は設定する。
- ・授業科目において研究結果を論理的に考察・精査できる能力を身につける。
- ・特別研究において研究の進捗状況報告を行い、教員や大学院生から指導・助言を受ける。
- ・特別研究において中間報告などにおいてプレゼンテーションを行う。

2年次・・・1年時に設定した研究課題に関する研究を実施し、専門的知識に基づいた論理的説明能力と研究遂行力の養成

- ・1年次の総括を踏まえ、必要に応じて研究計画の見直す
- ・継続して特別研究において研究成果を報告（指導・助言を受ける）
- ・学会発表や論文投稿を行い、広く内外からの評価を受ける
- ・修士論文論題提出。主査、副査の指導を受ける
- ・修士論文提出。口頭試問（最終試験）
- ・修士論文発表会